

世界のハイブランドウォッチを1冊に収めた完全保存版

腕時計の図鑑

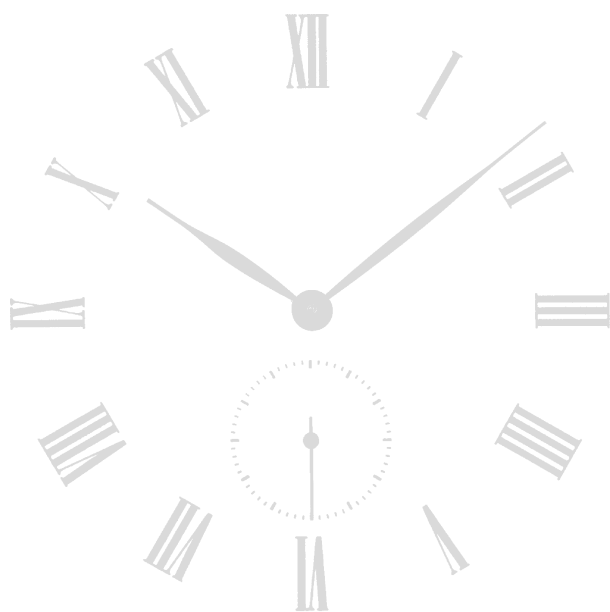


厳選71ブランド
272
モデル
徹底解説!

ムーブメントから高級時計を学ぶ／腕時計の仕組みをひもとく
腕時計の歴史／アンティーク時計の世界

マイナビ

腕時計の図鑑



伝統的かつ革新的
そして想像力の結晶

素晴らしい
タイムピースの
世界

*The World of
Wonderful Timepieces*

(左) ヴィルレ ウルトラスリム／ブランパン
(右) シーマスター 300／オメガ

人生を冒険する
確かな信頼を片腕に

時計職人たちの技術は
トラディショナルでいて革新的だ
それは、
アスリートの記録を計測するため
宇宙探査をするため
もしくは憧れのスターに近づくため
そして、己の信念のために

時が加速するような
都市生活を軽やかに泳ぐ



(左) タイムウォーカー アーバンスピード デイト オートマティック/モンブラン (右) アクアレーサー キャリバー 16 クロノグラフ/タグ・ホイヤー

知性と品格を
印象づける

時を知るだけならば
こだわる必要は、きつとない
時を刻むのであれば
きつと、こだわらざるを得ない
ラグジュアリーでいて
ステータスを誇示する
人生を彩るマスターピース
それが腕時計だ

(左) ブロードウェイ オートクロノ/ハミルトン (左下) マスターコレクション/ロンジン (右) クラシマ/ボーム&メルシエ

腕時計の図鑑

目次

02 素晴らしいタイムピースの世界

第1章 腕時計の基本

知っておきたい

10 腕時計の基礎知識

識者たちに聞いた！

18 高級腕時計の魅力と選び方

第2章 腕時計の図鑑

Part.1

22 オーデマピゲ
AUDEMARS PIGUET

24 A.ランゲ&ゾーネ
A. LANGE & SÖHNE

26 ブランパン
BLANCPAIN

28 ブレゲ
BREGUET

第3章

腕時計の図鑑

Part.2

30 ブライトリング
BREITLING

32 ブルガリ
BVLGARI

34 カルティエ
CARTIER

36 ジラール・ペルゴ
GIRARD-PERREGAUX

38 ウブロ
HUBLOT

40 IWC
IWC

42 ジャガー・ルクルト
JAEGER-LECOULTRE

44 オメガ
OMEGA

46 パネライ
PANERAI

48 バテックフィリップ
PATEK PHILIPPE

50 ピアジェ
PIAGET

52 リシャール・ミル
RICHARD MILLE

54 ロレックス
ROLEX

56 タグ・ホイヤー
TAG HEUER

58 ヴァシロン・コンスタンタン
VACHERON CONSTANTIN

60 ゼニス
ZENITH

比類なき名声と実力を兼ね備える

62 ムーブメントから高級時計を学ぶ

68 アーノルド&サン
ARNOLD & SON

69 ボールウォッチ
BALL WATCH

70 ボーム&メルシエ
BAUME & MERCIER

CONTENTS

- 
- 71 ベル&ロス BELL & ROSS
72 ブローバ BULOVA
73 カールF.ブヘラ CARL F. BUCHERER
74 カシオ CASIO
75 ショーメ CHAUMET
76 ショパール CHOPARD
77 クロノスイス CHRONOSWISS
78 シチズン CITIZEN
79 コルム CORUM
80 クエルボ・イ・ソブリノス CUERVO Y SOBRINOS
81 ディオール DIOR
82 エベル EBEL
83 エドックス EDOX
84 フォルティス FORTIS
85 フレデリック・コンスタント FREDERIQUE CONSTANT
86 グラスヒュッテ・オリジナル GLASHÜTTE ORIGINAL
87 グライシン GLYCINE
88 グラハム GRAHAM
89 グッチ GUCCI
90 ハミルトン HAMILTON
91 ハリー・ウィンストン HARRY WINSTON
92 H.モザー H. MOSER & CIE.
93 ジャケ・ドロー JAQUET DROZ
94 ジャンリシャール JEANRICHARD

- 95 ユンハンス JUNGHANS
96 ロンジン LONGINES
97 ルイ・エラルド LOUIS ERARD
98 ルイ・ヴィトン LOUIS VUITTON
99 モーリス・ラクロー MAURICE LACROIX
100 マイスター・ジンガー MEISTER SINGER
101 モンブラン MONTBLANC
102 ノモス・グラスヒュッテ NOMOS GLASHÜTTE
103 オリエント ORIENT
104 オリス ORIS
105 ビエール・ドゥ・ロッシュ PIERRE DEROCHE
106 ラルフローレン RALPH LAUREN
107 レッセンズ RESSENCE
108 ロジェ・デュブイ ROGER DUBUIS
109 セイコー SEIKO
110 ジン SINN
111 スピーク・マリン SPEAK-MARIN
112 ストーヴァ STOWA
113 ティン TISSOT
114 チュチマ TUTIMA
115 ユリス・ナルダン ULYSSE NARDIN
116 ヴァンクリーフ&アーペル VAN CLEEF & ARPELS
117 ウェンヘ WEMPE
118 ゾディアック ZODIAC

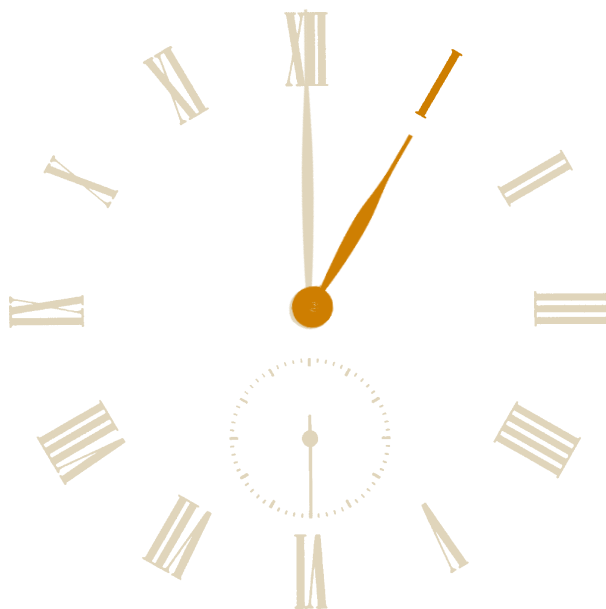
第4章 もっと腕時計を知る

- 120 腕時計の仕組みをひもとく
- 122 腕時計の扱い方と日々のお手入れ
- 124 買ったときのこと、メンテナンスのこと……etc
腕時計の素朴な疑問
- 126 オールソリティが語る時計の魅力とは
並木浩一 腕時計の美学
- 128 現行品にない魅力が満載!!
アンティークウォッチのススメ
- 134 独立時計師の工房を訪ねて
- 138 腕時計の歴史
- 144 スターと高級腕時計の関係
Ambassadors & Testimonies
- 148 全国版 初心者にも安心の優良ショップを紹介
高級ブランド時計ショップリスト
- 154 カタログやショップの説明もこれだけ知っていれば大丈夫!
腕時計用語集
- 158 お問い合わせ先一覧

第 1 章

腕時計の基本

何事にも、作法がある。高級腕時計の購入を考えるにあたって知るべき基本的なことがある。それらを知り尽くした識者たちの金言に、まずは耳を傾けてほしい。そこから自分の好みを見つけよう。



知っておきたい

腕時計の基礎知識

腕時計の雑誌やカタログを見ると、専門用語が当たり前のように使われていることが多い。

なかには聞いたこともない言葉もあるかもしれないが、

ここでそれぞれの意味を正しく理解しておこう。

Basic Knowledge of Watches

各パーツの名称

ここでは、腕時計の見える部分の代表的パーツを説明したい。たとえば一口に“針”といっても数種類あるし、ケースといっても素材は多数ある。どんな素材が使われているかにより、時計の機能も変わってくるのだ。



機械式時計とクォーツ時計

腕時計を大きく分けると、ムーブメントから機械式とクォーツの2つに分類される。これはどちらが良い悪いではない。それぞれの特徴をよく理解して、自分のライフスタイルに合ったタイプを選ぼう。

機械式時計の特徴

- ・時計としてのステータスが高い
- ・電池交換の必要がない
- ・オーバーホールが必要
- ・耐用年数がクォーツより長い

クォーツ時計の特徴

- ・時計としての精度が高い
- ・機械式に比べ価格が安い
- ・機械式に比べ衝撃に強い
- ・メンテナンスが簡単

	機械式時計	クォーツ時計
価格帯	1万円台から、数十万、数百万円台と、時計によりかなり異なる	100円SHOPでも買えるが、数千円～数万円台が多い
精度	平均日差±10秒程度	平均月差±20秒以下
駆動時間	40時間前後が多いが、7DAYS、10DAYSのモデルも	約2～3年で電池交換が必要
耐用年数	きちんとメンテナンスしていれば一生使える	モジュールの寿命が約10年
オーバーホール	3～4年ごとにオーバーホールが必要	とくになし
衝撃耐性	ダイバーズなど例外もあるが、精密機械なので基本はない	1～2メートルくらいなら落としてもほぼ耐える

実用重視で選ぶか 趣味で選ぶか

時計にとっていちばん大切なことは、時刻を正確に表示すること。この主張はおおむね正しい。それで考えるなら、時計選びはクォーツだけとなってしまうのだが、必ずしもそうとは限らないところに時計選びの楽しさと奥深さがある。時計を知っている人、好きな人ほど、機械式を選ぶ。それは電氣を使わずに、ゼンマイだけで動いていることのロマン、腕に乗ってしまっただけの小さなスペースに精緻なメカを創り出す職人への尊敬など、理由は様々だ。もはや芸術品の域にまで達している時計もあり、価格的にもクルマはおろか、家よりも高いモデルすらある。一方、クォーツは、限りなく正確だし、電池ある限り動きづける。スポーツなどの計測に、秒単位まで正確な時を知るためのツールと考えるならば、クォーツ一択だ。また価格的に手が届きやすいというのもクォーツの魅力だろう。

ムーブメントのタイプ

時計にとって車のエンジンにあたるのがムーブメント。
機械式とクォーツ式の違いは前のページの通りだが、
それぞれさらにタイプが分かれている。ここではそれを紹介しよう。



構造がシンプルな手巻き。シンプルゆえにメカへの負担も少なく長持ちする。

機械式

手巻き

自らがゼンマイを巻くという行為を楽しめる

機械式時計には、手巻きと自動巻きとの2種類がある。手巻きはリユーズを自分で巻き上げて時計を動かす作りで、これを面倒と考える人にはすすめられないタイプだ。手巻きの良さは、構造がシンプルなことによる耐久性、そして薄さだろう。そして最大の良さは、自らが巻くというこの仕組み自体にある。ゼンマイを巻くのは、他では味わえない独特のもので、ぜひ体感してほしい。またアポロ13号で有名なオメガスピードマスターのように、過酷な状況下で最も信頼できるメカだったという伝説も残っている。

機械式

自動巻き

機械式の魅力と実用さを兼ね備えていて使いやすい



初めての機械式時計なら、自動巻きがおすすめ。種類も価格も豊富だ。

着けている際に腕が動くことで、ムーブメントにあるローターを回転させ、その力でゼンマイを巻くのが自動巻きだ。多くのモデルで文字盤にはAUTOMATICと書かれている。使い勝手で考えれば、手巻きよりも自動巻きの方を圧倒的にすすめることができる。ただ、手巻きと違いローターが入る分、時計に厚みが出てしまうが、時計にはある程度のボリュームがある方が好きという人には美点となる。機械式を楽しむ人の中には、手巻きでも自動巻きでも大きな差はないので、好みで選んでかまわないだろう。



時間を正確に知るといふ実用性で選ぶのであればクォーツだ。

クォーツ

電池式

信頼できる精度と多機能
手に届きやすい価格帯

クォーツは機械式に比べると精度がはるかに高いので、たとえば分単位の時刻認識が必要なシーンにはおすすめです。また機械式に比べ、衝撃に強いので壊れにくく、電池交換以外の維持費はかからないので、コストパフォーマンスも良い。その

分、故障したら修理よりも、モジュール交換または買い替えという場合が多く、基本、長く使うようには設計されていない。またジョギングなどをしている人には、タイムや心拍数、歩数などを計る機能が充実したモデルもいろいろ。



選ぶ時は、コンパスや高度計測機能と組み合わせ、万能感を享受したい。

クォーツ

ソーラー式

太陽のエネルギーで動く
地球に優しいモデル

ソーラー式とは、太陽エネルギーを電気エネルギーに換えて動く時計だ。太陽光がきちんと当たるところなら自然に充電ができて、基本的に電池交換の必要はない。通常の電池式腕時計だと2年くらいで電池がなくなるが、ソーラーならその手間

とコストがかからない。ひとつ注意したいのは、エネルギーを蓄えておく蓄電池だ。ソーラーは電池交換が要らないといわれているが、充電効率が落ちてくれば蓄電池の交換が必要になる。全く電池交換の必要がない、というのは正しくない。



機械式なのに針は滑らかに進む、これを見ているだけでもおもしろい時計だ。

番外

スプリングドライブ

世界に誇る日本の技術
理想のハイブリッドモデル

スプリングドライブは、機械式とクォーツとの優れたところを融合した理想のハイブリッドウォッチだ。機械式の長所は、トルクが高いこと。これにより、大きな針やデイト表示をするといった、いろいろな機能が搭載でき、時計デザインの幅が広

がるのだ。それとクォーツの利点である制御システムを用いた、誤差の少ない高精度。動力は機械式のメカニズムなのにクォーツ並みの精度という、このシステムを実用化させたのは、世界でセイコーだけ。日本が誇るべき高い技術だ。

ケースの素材

壊れにくい、傷がつきづらいなど、実用面からステンレススチールが多い時計ケース。
しかし、近年ではケースの素材もバラエティに富み、たとえば金属以外にも
カーボンやセラミックなどを使ったケースが開発されている。

① プラチナ



ゴールドよりハイクラス

白金ともいう。腕時計に使われるプラチナは主にPt950。95%がプラチナで、強度を保つために5%にパラジウムが使われていることが多い。

② ゴールド



高いステータス性

腕時計に使われるのは主に18金で、その場合、金の比率は75%。イエローゴールド、ホワイトゴールド、ピンクゴールドなどがある。

③ ステンレススチール (SS)



実用性にすぐれた素材

カタログなどでは「SS」と略されることが多い。合金鋼で、鉄に10.5%以上のクロムを含んでいる素材。錆びにくいのが特徴。

④ セラミック



陶器のような素材

基本成分は、金属酸化物の熱処理で焼き固められた焼結体で、陶器に近いセラミック。耐熱性に優れていて、傷もつきにくい。

⑤ チタン



金属アレルギーをおこしにくい

チタンは、銀白で金属光沢を持ち、軽くて耐久性や耐熱性に優れた素材といわれている。金属アレルギー体質の人におすすめ。

⑥ カーボン



軽くて丈夫なハイテク素材

軽量で耐久性に優れた特徴を持つカーボンは、F1のボディや航空宇宙産業にも使われるハイテク素材。ケースだけでなくバンドに使われることも。

時計ケースに何を求めるのが重要

時計を選ぶ時に、ビギナーはあまりケース素材について考えていないことが多い。なぜなら、一般普及ゾーンでのケース素材には、圧倒的にステンレススチールが多く、あまり他の素材のものと比較検討できないからだ。

なぜ多いのかというと、ステンレスが錆びにくく、傷がつきにくい素材で、最も価格がリーズナブルだからである。硬さでいえば、セラミックやチタンなどが上だが、それらは種類もステンレスと比べれば少なく、価格も高い。なので、趣味性の高いモデルになっっている。ましてやゴールドやプラチナになると、もっと価格は跳ね上がってしまう。そのため、無難という点から考えればステンレスがおすすめだ。多少ぶついても傷はつきにくい。もし金属アレルギーであるならば、セラミックやチタンにするのが良いだろう。